

かまクロ

発行：鎌ケ谷市民活動推進センター 発行月：平成30年5月 No39

鎌ケ谷クロスフィールド

かまクロとは？！

鎌ケ谷市は4つの鉄道路線が乗り入れ、交差する「人と文化の交流拠点」として日々発展を続けるまちであり、自治会、市民公益活動団体、企業、行政など鎌ケ谷にある様々な組織が、その垣根を越えて“縁”を「クロス」- 交差 - するという思いを込めています。



— 認定「地域づくりコーディネーター」が誕生！ —

市では、様々な立場の異なる人達や組織の間のつなぎ役である「地域づくりコーディネーター」を育成する講座を実施するとともに、そのスキルを市が認定する制度を設けています。

この度、伊藤直子氏、甲斐貴子氏、二瓶純子氏（左から）の、3人の認定地域づくりコーディネーターが誕生しました。市民活動の頼りになるキーパーソンとしての活躍に期待しましょう。

Contents

- ◆表紙 認定「地域づくりコーディネーター」が誕生！（写真紹介）・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- ◆鎌ケ谷市民活動支援補助金 事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・P2・P3
- ◆地域づくりコーディネーター紹介・・・・・・・・・・・・・・・・P4



平成29年度 鎌ヶ谷市 市民

「鎌ヶ谷市市民活動支援補助金」は、市民公益活動団体が、対し補助金を交付するものです。平成29年度は、2つの団体

食育を通して生きる力を育む こども食堂事業

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂



事業概要

孤食の解消により、子どもたちにとって安心できる居場所の形成を進めるとともに、それを基盤とした非認知能力（意欲・やり抜く力・社会性など）の育成を行う。

実施結果

平成29年6月から30年3月にかけて毎月1回開催し、延べ480人の参加があった。

アンケートの結果、子どもたちが料理に興味を持ち自ら手伝ったり、料理をするようになったという変化が見られたり、苦手なものや今まで食わず嫌いだったものに自ら挑戦するなどの様子も見られるようになり、やり遂げる力の中の自発性を学ぶ場となった子もいると思われる。また、参加している親たちの中からも、自ら手伝う姿勢を見せてくれる人も現れるようになり、今後の発展性を感じている。

現在、登録者数は160名を超え、地域交流のよい足場となっていけるものと考えている。

鎌ヶ谷市市民活動団体 ボランティア団体の 活動PR小冊子作成事業

鎌ヶ谷マネジメントラボ



事業概要

市内で活動している市民活動団体、自治会など様々な主体の情報を掲載した資料を作成し、市民へ情報提供するとともに、取材等を通じて団体間の「生きたネットワーク」構築を行う。

実施結果

平成29年8月から12月にかけて編集会議や取材を行い、平成30年1月27日に開催した「市民活動フェスタ2018」で配布を開始した。

冊子を見た人や掲載されている団体の知人の方からは「こんな活動がたくさんあるとは知らなかった」「ほかに紹介してほしい」というコメントを複数いただいた。

また、冊子を作るにあたり、編集会議でワークショップを通して団体間の交流をした結果、イベントの際に各団体が気軽に声を掛け合う様子が見受けられるようになり、「生きたネットワーク」の構築に効果が出ているものと考えている。

活動支援補助金 事業実施報告

地域の抱える課題の解決のために実施する市民公益活動事業に
の事業に補助金を交付しました。

平成29年度の 市民活動支援補助金交付事業について



鎌ヶ谷市プロジェクトマネージャー 影山 貴大

平成29年度の鎌ヶ谷市市民活動支援補助金に採択された事業は、2団体による左記の事業
でした。ここでは、この2つの事業についてフィードバックしていきたいと思います。

1つめは、鎌ヶ谷こどもだんらん食堂（以下、だんらん食堂）の「食育を通して生きる力を
育むこども食堂事業」です。

だんらん食堂は、鎌ヶ谷市内で子ども食堂を主宰している団体ですが、今回は食堂に参加し
ている子どもたちの「生きる力」の醸成ということで、参加者みんなで料理を作り、みんなで
食べるという食育の事業を実施しました。また、事業の成果を測るため、参加者にアンケート
を実施してデータをしっかり収集することで、この事業がどれだけの効果を地域にもたらして
いるか、より効果的な事業の形はどういったものかを「見える化」しています。このような取
り組みは、他の地域住民に活動を周知してもらうためにも非常に重要なポイントと考えていま
す。

2つめは、鎌ヶ谷マネジメントラボ（以下、かまラボ）の「鎌ヶ谷市市民活動団体ボランテ
ィア団体の活動PR小冊子作成事業」です。

かまラボは、鎌ヶ谷市初の中間支援組織として設立されました。今回は鎌ヶ谷市内で活動す
る市民活動団体やボランティア団体の活動PR小冊子を作成するという事で、市民活動推進
課と協働で事業を行っています。小冊子の作成がゴールとしてあるものの、作成のプロセスで
掲載する全団体を巻き込んでのワークショップを行い、団体同士の繋がりを作ったり、丁寧
にヒアリングすることで、団体の抱えている課題や、どんな思いで活動を始めたのかの原体験を
思いだしていただいたりという冊子を作っていく過程そのものが団体の支援になっている非常
に面白い事業でした。

現在、冊子は市の公共施設や市民活動推進課、市民活動推進センターにも置いてありますの
で、是非お手に取って読んでいただければ、ここで語った以上にこの事業の成果を実感して
いただけるかと思います。

地域の活性化や問題の複雑化が叫ばれる昨今ですが、このように団体が活躍している鎌ヶ谷
はきっとまだまだ素敵な街になっていくと確信しています。

是非皆さんも自分たちのまちを自分たちで作り上げていく一歩を踏み出してみてください！

地域づくりコーディネーターとは

地域づくりコーディネーターは、市民、自治会、市民公益活動団体、企業、市など、立場の異なる人・団体間のつなぎ役として活動します。役割・活動は様々ですが、一例をご紹介します。

① これからはじめたい・すでに行われている市民活動を応援します。

団体を立ち上げたい、立ち上げたけれども組織運営がうまくいかない、活動がマンネリ化している、打合せ場所を探している、後継者を育てたいなど、悩みを抱える人達、組織をサポートします。

⇒抱えている問題点の整理、アドバイス、ヒントになりそうな事例等の紹介など。

② 会議・打合せ時の進め方の提案、進行などをお手伝いします。

地域行事を活発にしたい、参加者を増やしたい時など、企画を考える会議・打合せの進行などを、お手伝いします。

⇒様々な人が気軽に意見を言いやすい会議の進め方の提案、進行役としてのサポート。さまざまな年代の人が関われる企画の提案など。

③ 様々な人達や組織と一緒に取り組む際のつなぎ役となります。

イベントを一緒に行いたい、このような組織を探している、同じ地域課題の解決を目指している組織とタッグを組みたい時など、人と人、団体と団体をつなげます。

⇒悩み事・相談事に応じて適切な人や団体を紹介したり、つながった人同士や団体同士がより良い事業を展開できるよう、アドバイスをするなど。

④ 人脈の拡大やスキル、情報の維持・向上、他の地域づくりコーディネーターの育成に努めます。

人脈の拡大や、「かまがや地域づくりコーディネーター養成講座」等で得たスキルの維持・向上に加え、同講座に参加し、受講者にアドバイスをするなど、他の地域づくりコーディネーターの育成に努めます。

鎌ヶ谷市認定「地域づくりコーディネーター」

名前	連絡先	所属団体
伊藤 直子	047-442-3100 jimoto1705@yahoo.co.jp	(特非) 鎌ヶ谷 Jump up の会・ 相談支援事業所ジャンプアップ
甲斐 貴子	080-4200-4780 0930kai@gmail.com	鎌ヶ谷マネジメントラボ
二瓶 純子	jn25nihei@yahoo.co.jp	鎌ヶ谷マネジメントラボ

地域づくりコーディネーターへの相談を希望される方は、市民活動推進課（TEL：047-445-1274）または、地域づくりコーディネーターまでご連絡ください。

